

用語解説

エコドライブ 【6,14ページ】

アイドリングのストップ、経済速度の遵守、急発進や急加速、急ブレーキを控える、適正なタイヤ空気圧の点検など、省エネルギー、二酸化炭素や大気汚染物質の排出削減のための運転技術を指す概念。

塩素系有機溶剤 【9,17ページ】

分子構造の中に塩素を含む有機物質で、溶剤として用いられるものをいう。環境中に排出されると有害性が高いうえに分解されにくいいため、問題視されている。

環境会計 【19ページ】

企業会計分野において、環境保全に関する投資や経費、その効果などを貨幣価値と物量の両面から客観的に把握し、開示するための仕組み。

環境首都 あどぶと・エコスクール制度 【31ページ】

徳島県と県内4大学などでつくるとくしま環境科学機構が、「地域の人づくりを地域の企業等が支える」の考えのもと、「アドプト」の考え方を学校の環境学習活動に適用し、徳島県内の事業者・民間団体が「里親」となり、「養子」である学校の環境学習活動を支援する制度。

アドプト (アダプト) とは—— 市民や民間企業が、道路や公園など地域の公共施設をわが子に見立てて、互いに「養子縁組」を結び、愛情を持って清掃や美化活動などを行う、米国テキサス州で始まった「市民協働」のボランティア方式。[アドプト: adopt] とは英語で「養子縁組をする」という意味。

環境マネジメントシステム 【7ページ】

事業組織が法令などの規制基準を遵守するだけでなく、自主的、積極的に環境保全のために取る方針・行動を計画・実行・評価・点検する環境管理システム。

グリーン購入 【9,22ページ】

製品やサービスを購入する際、必要性を考慮し、購入時は価格や品質に加えて、できる限り環境への負荷が少ないものを優先的に購入すること。

グリーン調達 【22ページ】

行政機関や企業などの大口需要者が、資材や部品・原材料・サービスなどを購入する際に、環境に配慮した製品を優先的に選択して購入すること。

原単位 【9,13ページ】

CO₂排出量やエネルギー使用量などの消費量を従業員当たりや売り上げ当たりなどの、特定の単位を基準として値に換算した数値。

食品リサイクル法 【16ページ】

食品廃棄物などの排出の抑制と資源としての有効利用を推進するための法律。2001年6月施行。

ゼロエミッション 【6,16ページ】

1994年に国連大学が提唱した構想。廃棄物として捨てられているものを有効活用することによって、廃棄物の発生量を減らし、埋立て廃棄物、焼却処理廃棄物を極力減らすこと。

テーブル・フォー・ツー (TABLE FOR TWO) 【32ページ】

開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病に同時に取り組む社会貢献運動。対象となる定食や食品を購入すると、1食につき20円の寄付金が、TABLE FOR TWOを通じて開発途上国の子どもの学校給食になります。

ニュートラシューティカルズ (Nutraceuticals) 【27ページ】

栄養 (Nutrition) と医薬品 (pharmaceutical) を組み合わせた造語。毎日の食生活に栄養を上手に取り入れ、健康の維持増進を応援するという考え方。

サーマルリサイクル 【16ページ】

廃棄物を単に焼却処理するだけではなく、焼却の際に発生するエネルギーを回収・利用すること。

ばいじん 【11,15,18,19ページ】

ボイラーや電気炉などから出るすすや固体粒子。燃料の変更や、適切な集塵機の設置で排出量削減が可能。

ビオトープ 【30ページ】

生物が共存している生態系や生息する空間を示す言葉。近年では環境の損なわれた土地、都市や工場敷地内の空き地、校庭などに動植物などが共生できる場所を造成、復元した空間を指す場合が多い。

ファイバードラム 【12ページ】

紙や繊維系の素材を用いて円筒形の包装材料としたもの。主にバルク製品などの包装材としての利用が多い。

モーダルシフト (modal shift) 【6,14,31ページ】

貨物輸送の方式をトラックから鉄道・海運などへ転換すること。労働力不足・道路渋滞・大気汚染などの深刻化により限界に近づいたトラック中心の貨物輸送を見直し、機動力のあるトラックと安く大量に輸送できる鉄道や海運を組み合わせることによって、輸送の効率化やコストダウン、時間短縮をはかるうというもので、国土交通省が総合物流対策として推進している。

容器包装リサイクル法 【19ページ】

家庭から出る容器や包装廃棄物のリサイクルを義務付ける法律。消費者は分別排出、市町村は分別収集、事業者は利用した容器包装の量に応じて再商品化の責任を負っています。

BCAA 【30ページ】

Branched Chain Amino Acid (分岐鎖アミノ酸) のこと。筋肉の材料となり、エネルギーの源となる唯一の必須アミノ酸。

COD (化学的酸素要求量) 【11,18,19ページ】

水中の有機物を酸化剤で酸化分解するのに消費される酸素の量で、水質汚濁指標のひとつ。

CRM 【26ページ】

カスタマー・リレーションシップ・マネジメントのこと。経営戦略上、重要な顧客を見つけ出し、引きつけ、維持していく方法。

ISO14001 【8ページ】

国際標準化機構 (ISO) が作成した国際規格。企業・団体が環境負荷を減らす努力目標を設定し、そのための人材教育や環境管理などの仕組み構築の状況を認証機関が検証・認定。

NOx (窒素酸化物) 【11,18,19ページ】

窒素と酸素の化合物の総称。燃焼によって発生し、工場や自動車などが主な発生源。

PRTR物質 【9,11,17ページ】

PRTR法 (後述) の対象となる化学物質は「第一種指定化学物質」とされ、人や生態系への有害性 (オゾン層破壊性を含む) がある物質として、計354物質が指定。

SOx (硫黄酸化物) 【11,18,19ページ】

硫黄と酸素の化合物の総称。大気汚染物質のひとつで、酸性雨の原因物質。開発途上国ではこれらによる汚染が深刻。

SS (浮遊物質) 【11,18,19ページ】

水中に浮いている直径2mm以下の非常に小さい粒子状物質のこと。この数値が大きいと、工場排水からの有機物や金属の沈殿物などが多く含まれている。

3R 【3ページ】

リデュース (Reduce) ・リユース (Reuse) ・リサイクル (Recycle) の3つのR (アール) の総称。リデュースは「減量化」すること、リユースは「形を変えずに再利用」すること、リサイクルは「資源として再利用」することです。